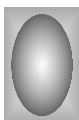


INFORMATION

最新の情報は生理学会ホームページをご覧ください (URL: <http://www.soc.nii.ac.jp/psj/>)



平成14年度笹川科学研究助成募集要項

1 趣旨

「笹川科学研究助成」は、21世紀を迎えて真に質の高い社会の実現のため萌芽性、新規性および独創性のある内容をもった研究を奨励し、振興することを主旨とし、他からの研究助成が受け難い研究を全国的に掘り起こすとともに、意欲に満ちた優れた若手研究者の育成ならびにその研究に対する助成を目的とします。

2 対象となる領域ならびに申請区分

人文科学、社会科学および自然科学（医学を除く）、またはそれらの境界領域に関する研究で、上記領域を次の申請区分に分けます。

- (1) 一般科学研究
- (2) 学芸員・図書館司書等が行う研究
- (3) 海洋・船舶科学研究

3 研究計画および助成額

研究計画は、単年度（平成14年4月1日から平成15年2月10日まで）内で研究が完了し、成果をとりまとめられるものとします。

助成額は、1研究課題あたり年間100万円を限度としています。

4 募集の対象者

平成14年4月1日現在、35歳以下の者であって、次の条件を満たす者

ただし、大学院生、博物館（含む類似施設）および図書館の学芸員・図書館司書等にあつては、年齢制限はありません。

応募条件

- (1) 平成14年4月1日現在、大学院修士課程ならびに博士（前期・後期）課程に在籍する者お

よび進学予定者

- (2) 大学院生と同等以上の能力を有する者
- (3) 大学、研究所、研究機関、教育機関等において研究活動に従事する者
- (4) 博物館（含む類似施設）および図書館で研究活動に従事する学芸員・図書館司書等の職員

5 その他の申請条件

- (1) 研究計画は、申請者が主体となって行う研究とします。その研究は、平成14年4月から着手しようとする研究および研究途上の研究とします。
- (2) 他の研究助成団体等から既に助成を受けている研究、助成を受けることが内定している研究およびその研究が実質的に完了している研究は、対象となりません。
- (3) 申請者は、申請時に日本国外在住であっても研究実施の本拠は日本国内とし、当該研究完了まで在日できるものとします。
- (4) 申請者が、外国からの留学生ならびに研究員にあつては、所属大学院等の日本在住の研究指導者もしくは日本人研究協力者を必要とします。
- (5) 申請者は、当該研究について推薦書を必要とします。なお、大学院生の申請者は、研究指導者の推薦書、学芸員（含む学芸員補）および図書館司書等にあつては所属館長の長もしくは所属長の推薦書を必要とします。
- (6) 申請は、1個人1研究計画に限ります。
- (7) 平成14年度に日本学術振興会の特別研究員に内定した方は、本研究助成を受けることが

できません。

6 申請の方法

所定の「平成14年度笹川科学研究助成交付申請書」を用いて下さい。なお、申請書の書式はホームページをご覧ください。

7 募集期間

平成13年9月3日(月)から平成13年10月31日(水) 必着 までとします。

8 選考方法

(財)日本科学協会内に学術専門領域別からなる学職経験者で構成する笹川科学研究助成選考委員会を設け、審査選考を行います。

なお、申請者に対して研究内容等について、照会する場合があります。

9 決定通知

助成金の決定は、平成14年4月中に通知します。

なお、内定は、平成14年3月末日までにお知らせします。

10 助成の対象となる研究費

平成14年4月1日から平成15年2月10日まで、研究の実施に直接必要な経費とします。

11 交付方法

本研究助成金の交付は、個人名義宛となります。

12 助成金交付決定後の主な手続き等

(1) 助成金の決定通知を受けた方は、本会と研究実施に必要な約定を定めた覚書を締結し、中間報告および研究成果報告(終了時)を提出することになります。

(2) 本会が研究発表会を開催する場合は、出席のうえ口頭発表をお願いすることがあります。

13 申請書の申込方法

申請書のお申し込みは、E-mailもしくは、FAXにて郵便番号、住所、氏名、電話番号および希望部数を明記の上、ご連絡下さい。

また、申請書はホームページからも申し込みおよびダウンロードできます。

14 その他

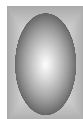
提出された申請書は返却いたしかねますので、ご了承下さい。

財団法人日本科学協会 笹川科学研究助成係
〒107 0052 東京都港区赤坂1 2 2 日本財団ビル5F

TEL 03 6229 5365 FAX 03 6229 5369

E-mail : jss@silver.ocn.ne.jp

URL : <http://www.jss.or.jp>



文部科学省特定領域研究(B)「グリア細胞による神経伝達調節機構の解明」 第10回東海ニューロサイエンス研究会合同公開シンポジウム

日時：平成13年10月13日(土)

場所：第二豊田ホール(名古屋市中村区名駅
4 10 27 TEL: 052 584 7123)

プログラム

10:00 ~ 10:10

開会の挨拶

吉田 純(名古屋大学医学部)

[セッションI]

座長：浅井清文

10:10 ~ 10:40

貝淵弘三(名古屋大学医学部)

「神経細胞の軸索・樹状突起の運命決定と細胞極性」

[東海ニューロサイエンス研究会招待講演]

座長：吉田 純

10:40 ~ 11:25

桐野高明(東京大学医科学研究所)

「虚血性脳血管障害治療の展望」

座長：池田一裕

11:25 ~ 12:10

伊藤正男(理化学研究所)

「21世紀の脳科学への期待」

昼食

[セッションII]

座長：和田圭司

13:10 ~ 14:10

池中一裕(岡崎国立共同研究機構生理学研究所)
「特定領域研究(B)」「グリア細胞による神経
伝達調節機構の解明」研究班の主な成果」

[特別領域研究(B)招待講演]

座長：木山博資

14：10～14：55

堀井凱樹(国立遺伝学研究所)

「ショウジョウバエ神経系細胞の運命決定と
glial cells missing 遺伝子」

座長：渡辺雅彦

15：25～16：10

小澤静司(群馬大学医学部)

「小脳ベルクマングリアにおけるカルシウム透
過性AMPA型グルタミン酸受容体の機能」

[セッションIII]

座長：高坂新一

16：10～16：40

工藤佳久(東京薬科大学生命科学部)

「これからのグリア研究」

16：40～16：50

閉会の挨拶

池中一裕(岡崎国立共同研究機構生理学
研究所)

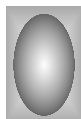
主催：文部科学省科学研究費補助金特定領域研究
(B)

共催：東海ニューロサイエンス研究会

ノバルティスファーマ(株)

連絡先：岡崎国立共同研究機構・生理学研究所
岩崎靖乃，池中一裕

TEL(0564)55 7842 E-mail: glia@nips.ac.jp



第25回人間 生活環境系シンポジウム

25th Symposium on Human-Environment System

2001年12月7, 8日 沖縄県那覇市

Dec 7, 8, 2001 Naha, Okinawa

第1回の人間 熱環境系シンポジウムが開催されてから、四半世紀が過ぎようとしています。21世紀に入ってはじめてのシンポジウムを沖縄で開催することになりました。このシンポジウムは人体や衣服から地球のスケールまで、生活全般にかかわる環境について、ともに考え学ぼうというものです。身近な話題から夢のあるプロジェクトまで、豊富な話題をいっしょに楽しみましょう。

A quarter century has passed since the 1st Symposium on Human-Thermal Environment System was held. Okinawa is selected as the

venue of the memorial 25th and 1st symposium in the 21st century. This symposium includes all the human environment systems, from a human body to the earth. Let's attend the meeting to enjoy the topics from ordinary lives to dreamy plans.

Call for papers

Topics: Anything concerns
human-environment systems

Application

Send the title of your paper, author(s) name(s), affiliation(s) and address, telephone number, e-mail address to be contacted by e-mail to:

jzutsumi@tec.u-ryukyu.ac.jp

Registration Fee

シンポジウム参加費

	Member of HES	Non-member	Student
Before Oct. 5	¥7,000 -	¥14,000 -	¥3,500 -
After Oct. 9	¥9,000 -	¥16,000 -	¥5,000 -

Deadline: Sat., August 31, 2001

締切り：2001年8月31日（土）

研究発表募集中

内容は人間 生活環境に関係のあるものならなんでも

発表申込み

発表予定のタイトル、著者名、所属機関、及び連絡先の住所、電話番号、メールアドレスを、下記のアドレスまでメールでお送りください。

jzutsumi@tec.u-ryukyuu.ac.jp

シンポジウム事務局：

〒903 0213 沖縄県西原町千原1

琉球大学工学部 堤 純一郎

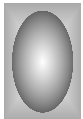
TEL 098 895 8655 FAX 098 895 8677

Secretary: Jun-ichiro TSUTSUMI

Univ. of the Ryukyus, Senbaru 1,

Nishihara-cho, Okinawa 903 0213 Japan

TEL + 81 98 895 8655 FAX + 81 98 895 8677



神奈川科学技術アカデミー 教育講座

シグナル伝達研究とゲノム医科学の最先端と医薬品への応用コース

11/27（火） 11/28（水） 12/4（火）

12/5（水） 12/6（木）

【特別講義】

11/20（火）計11日間

1日単位の受講可

講義場所

東京大学医科学研究所（東京都港区白金台）

主なカリキュラム内容

【シグナル伝達編】

シグナル伝達の分子生物学/チロシンホスファターゼ/細胞膜リン脂質代謝/MAPキナーゼ/アラキドン酸カスケード/受容体とシグナル伝達/造血系と細胞間シグナル/細胞周期制御/細胞増殖制御/細胞死の制御/幹細胞制御/シグナル伝達分子を標的にした新しい治療法/ウイルス感染と創薬/免疫系シグナル伝達/T細胞制御とシグナル伝達/神経系のシグナル伝達/肥満・糖尿病/血管形成と癌/リウマチ・アレルギー疾患/概日リズム障害と時計遺伝子

【ゲノム医科学編】

ゲノム医科学の課題/疾患遺伝子の同定と解析/ゲノムデータベース/癌と転移/疾患モデルを用いた感染症研究/発現プロファイルとゲノム診断/ゲノム動態/サイトカインノックアウトマウス/アデノウイルスベクター/RNAウイルスベクター/分

カリキュラム編成者

東京大学医科学研究所

教授 医学博士 新井賢一

東京大学医科学研究所

教授 理学博士 山本 雅

コースの特色・ねらい

このコースは、シグナル伝達の異常から起こる疾病について着目し、その病気のおこるメカニズムについて解説し、治療にむけての方向性について専門の先生方に最新のお話しをしていただきます。また、現在ものすごいスピードで研究が進められているゲノム情報、プロテオーム解析の話題に触れ、疾患との関係についての情報解析を学びます。これらのことを鑑みて、シグナル伝達、ゲノム医科学に基づく創薬、そしてこれらの研究を医療の現場に展開するトランスレーショナルリサーチについて議論していきます。

講義日

【シグナル伝達編】

10/23（火） 11/2（金） 11/21（水）

11/23（金） 11/24（土）

【ゲノム医科学編】

子擬態と分子設計/機能中の蛋白質1分子の立体構造解析/ゲノム医科学とプロテオーム解析/プロテオーム解析技術/膜蛋白・核蛋白の相互作用解析/高次構造と分子間相互作用/ゲノム創薬の課題/遺伝子多型と疾患/シグナル伝達と21世紀医療/総合討論

【特別講義】

バイオベンチャーによる Activity/新世代大学による価値創造とバイオベンチャーの役割/アメリカのバイオベンチャーの展開/日本での最近の起業

[施設見学] 東京大学医科学研究所(東京都港区白金台)

受講料

99,000円 KAST 法人賛助会員(事業所単位)・神奈川県内中小企業 79,200円

【シグナル伝達編】または【ゲノム医科学編】のみ受講

62,000円 KAST 法人賛助会員(事業所単位)・神奈川県内中小企業 49,600円

1日受講料 17,000円

申込締切日

10月3日(水)

募集人数

25名

初めての人の基礎から学ぶ分子細胞生物学コース
~細胞の分子構造機能から病態まで~

カリキュラム協力

東京大学医科学研究所

教授 医学博士 新井賢一

コースの特色・ねらい

IT関連, キャピタル, 商社, 保険会社といった様々な企業の方々に, こらからライフサイエンス分野に参入しようとしている方を対象に, 生命の成り立ちと営みを細胞レベルにおいて総合的に理解し, 生化学・分子生物学から病気の基礎知識までを短期間で身に付けられるカリキュラムです.

講義日

10/2(火) 10/5(金) 10/16(火)

10/19(金) 計4日

講義場所

東京大学医科学研究所(東京都港区白金台)

主なカリキュラム内容

細胞の分子構造と機能ⅠⅡ(細胞分裂, 蛋白質構造)/個体とその制御(形態形成)/細胞レベルの制御ⅠⅡ(生化学とエネルギー代謝, シグナル伝達)/遺伝子とゲノムⅠⅡ(遺伝子制御と翻訳, 複製・修復・組み換え)/システム情報学(診断システム)/病理学と分子レベルでの病態ⅠⅡ(分子病態, 病理)/生物学の特質と社会(発生生物学)

受講料

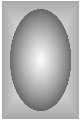
55,000円 KAST 法人賛助会員(事業所単位)・神奈川県内中小企業 44,000円

申込締切日

9月10日(月)

募集人員

30名



平成14年度国立循環器病センター流動研究員募集

資格：採用日において、原則として35歳未満の者で、大学卒業後2年以上の研究歴を有する者。(大学の学部不問)

研究課題：願書に添付の「研究所紹介」欄参照

募集人員：若干名

採用日：平成14年4月1日

任用期間：1年度毎の評価により、3年間を限度として再採用を行う。

願書締切：平成13年10月31日(水)必着

願書請求先：

〒565 8565 大阪府吹田市藤白台5 7 1
国立循環器病センター
運営部政策医療企画課研修係
(190円切手同封のこと)

問い合わせ：

TEL 06 6833 5012 (内線2216)
FAX 06 6833 9865
e-mail ssugimot@mgt.ncvc.go.jp